

2015年5月期 機関投資家向け決算説明会資料

[2015年7月14日]

経営方針

- 公明正大かつ信用あるオークション市場の創造と拡大
- 常に信用を重んじる中での慎重かつ大胆な挑戦
- 豊かで美しく潤いある生活文化の追求

目次

2015年5月期 概況《連結》	3	シンワアートオークション 新中期経営計画骨子	19
企業集団の状況と事業セグメントについて	4	新中期経営計画2年目（2015年5月期）を振り返る	20
2015年5月期 連結 決算概要	5	新中期経営計画3年目（2016年5月期）行動計画	21
2015年5月期 連結 B/S	6	戦略子会社 エーペック株式会社 I	22
2015年5月期 オークション関連事業 業績内訳	7	戦略子会社 エーペック株式会社 II	23
2015年5月期 取扱高・粗利益の推移	8	戦略子会社 エーペック株式会社 III	24
近代美術オークション 平均落札価額の推移	9	戦略子会社 シンワメディコ株式会社	25
近代美術オークション インデックス	10	戦略子会社 Jオークション株式会社	26
国内美術オークション市場の規模の推移	11	シンワアートオークショングループ 新中期経営計画3年目に	27
取扱アイテム及び高額落札作品 シェア比較	12	戦略子会社 2016年5月期 業績予想	28
2016年5月期 財務方針	13	戦略子会社 2016年5月期 業績予想前提条件	29
これまでの事業推移	14	2016年5月期 6期連続黒字・連結収益急拡大	30
オークション事業 I	15	2016年5月期 連結業績予想	31
オークション事業 II	16	将来見通しに関して	32
2016年5月期 国内オークション事業戦略	17	会社概要	33
2016年5月期 国際事業戦略	18		

2015年5月期 概況《連結》

■ 実績

売上高
2,948百万円

営業利益
77百万円

経常利益
52百万円

当期純利益
16百万円

■ オークション関連事業・・・シンワアートオークション株式会社、Jオークション株式会社（B/J&W）

オークション関連事業では、主力の近代美術において、出品点数・取扱高・落札率ともに大きく増加しましたが、売上構成では、売上高に占める手数料収入の割合が増加した半面、利益率の高い在庫商品の取り扱いが減少しました。また、当社は商品を在庫として取得した後、一定期間を経過する毎に、あらかじめ定めた基準に従い商品原価を積み増しし、簿価を引き下げ、将来の不確定な損失の発生に備えておりますが、当年度も100,263千円の積み増しを実施し、利益を大きく圧迫することとなりました。積み増し分を本年3月以降のオークションにて挽回すべく鋭意努力し、大型のPS案件2件にも取り組んでおりましたが成約に至らず、収益を補完するまでは至りませんでした。以上により売上高は1,140,671千円（前年同期比4.5%減）、セグメント利益は5,878千円（前年同期比96.0%減）となりました。

■ 再生可能エネルギー関連事業・・・エーペック株式会社

低圧型太陽光発電施設については、平成27年1月9日付で連結業績予想の修正を公表致しました際には、グリーン投資減税の追い風を受け、順調な伸びをみせており、3月末までの完工物件予定数が大幅に上回るものと見込んでおりましたが、同1月に計17基の系統連系が電力会社の都合で延期となった事をうけ、販売計画を見直し、目標達成に向け精力的に営業活動を行いました。その結果、3月に見込んでおりました100%即時償却を目的とした法人需要が予想に反して伸びなかったため、販売価格を高く設定できず、また4月以降は「生産性向上設備投資促進税制の適用」を促す営業活動を行いましたが、制度への認知度も低く、結果販売価格を下げての営業となりました。

高圧型太陽光発電施設の販売に関しては2基の販売を予定しておりましたが、800kW級については成約に至らず自社保有とし、3月より現在保有中の宮崎県西都市の1MW級施設の売却に取り組みましたが成約に至りませんでした。売電については下期は天候に恵まれ最終的に当初計画値を約30%上回りました。以上により売上高は1,807,074千円（前年同期比849.6%増）、セグメント利益は75,102千円（前年は563千円のセグメント損失）となりました。

■ その他・・・シンワメディコ株式会社

当社の第7回新株予約権による資金調達の遅れと、当社からの一時貸付を再生可能エネルギー関連事業に対して優先的に行ったため、投資機会を見送る状況にありました。

企業集団の状況と事業セグメントについて

- I. オークション関連事業 シンワアートオークション株式会社（当社）
Jオークション株式会社（連結子会社）・・・当社から宝石部門を移管
- II. 再生可能エネルギー関連事業 エーペック株式会社（連結子会社）
- III. その他 シンワメディコ株式会社（連結子会社）・・・医療機関向け支援事業
（持分法適用関連会社） Asian Art Auction Alliance Co,Ltd

（単位：百万円）

	オークション 関連事業・・・I	再生可能エネ ルギー関連事業・・・II	計	その他・・・III	合計
売上高	1,140	1,807	2,947	0	2,948
セグメント利益又は損失（△）	5	75	80	△3	77
セグメント資産	2,352	999	3,352	8	3,360
減価償却費	4	22	26	0	27
有形固定資産の増加額	3	278	282	-	282

2015年5月期 連結 決算概要

(単位：百万円)

	2014年5月期 実績	2015年5月期 計画 (当初)	2015年5月期 実績	増減 (対前年)		増減 (対計画)	
				(額)	(%)	(額)	(%)
売上高	1,385	2,161	2,948	1,562	112.8%	787	36.4%
売上総利益	805	992	860	55	6.8%	860	△13.3%
販売費及び一般管理費	670	754	782	112	16.7%	782	3.8%
営業利益	135	238	77	△58	△42.6%	△161	△67.4%
経常利益	122	219	52	△70	△56.8%	△167	△76.1%
当期純利益	108	134	16	△92	△84.9%	△118	△87.8%
包括利益	101	-	11	△90	△88.5%	-	-

2015年5月期 連結 B/S

(単位：百万円)

[資産の部]	FY2014.5	FY2015.5
流動資産	2,242	2,709
- 現預金	1,273	1,446
- オークション 未収入金・売掛金	31	314
- 商品	462	352
- 製品	100	-
- 前渡金	235	139
- 繰延税金資産	40	75
- その他	99	380
固定資産	617	651
- 有形固定資産	305	560
- 投資その他	312	90
資産合計	2,860	3,360

(単位：百万円)

[負債の部]	FY2014.5	FY2015.5
流動負債	912	1,318
- オークション未払金	52	403
- 短期借入金	696	361
- その他	163	553
固定負債	302	401
負債合計	1,215	1,719
- 資本金	920	926
- 剰余金	937	926
- 自己株式	△222	△221
その他*	10	9
純資産合計	1,644	1,640
負債・純資産計	2,860	3,360

自己株式：
854,800株保有

自己資本比率：48.5%

* 「その他」には、包括利益・新株予約権・少数株主持分が含まれております。

2015年5月期 オークション関連事業 業績内訳

(単位：百万円)

		取扱高	前年度比 増減 (%)	構成比 (%)	売上高	前年度比 増減 (%)	構成比 (%)
オークション事業	近代美術	2,577	49.8	58.0	480	12.0	42.1
	近代陶芸	270	10.7	6.1	66	22.2	5.8
	近代美術 Part II	240	△25.2	5.4	61	△27.5	5.5
	その他	870	△47.3	19.6	199	△40.1	17.5
	小計	3,958	0.5	89.1	808	△10.4	70.9
オークション関連 その他事業	プライベートセール	384	87.4	8.7	279	43.4	24.5
	その他	97	△36.1	2.2	52	△45.6	4.6
	小計	482	34.6	10.9	332	13.7	29.1
合計		4,440	3.3	100.0	1,140	△4.5	100.0

本表の金額には当社の手数料及び消費税等は含まれておりません。

2015年5月期 オークション関連事業 取扱高・粗利益の推移

(単位：百万円)

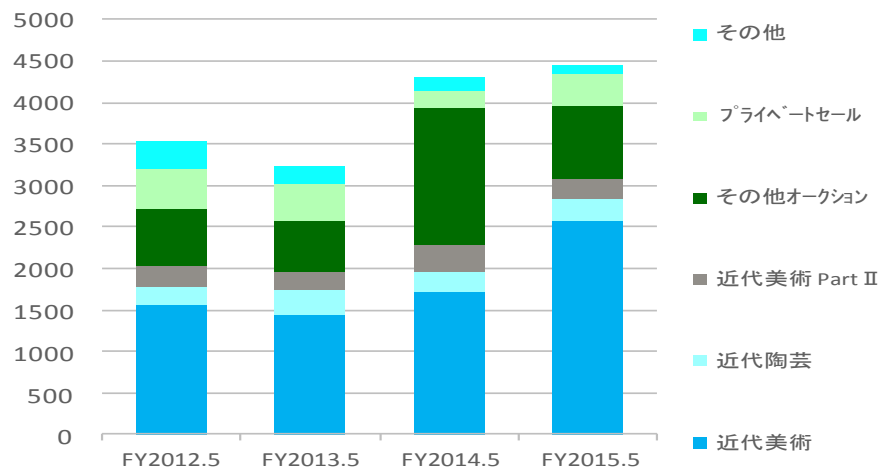
(単位：百万円)

		FY2012.5	FY2013.5	FY2014.5	FY2015.5
オークション事業	近代美術	1,571	1,445	1,720	2,577
	近代陶芸	208	304	243	270
	近代美術 Part II	246	229	321	240
	その他オークション	693	603	1,653	870
その他	プライベートセール	496	446	205	384
	その他	317	196	153	97
取扱高合計		3,534	3,225	4,297	4,440

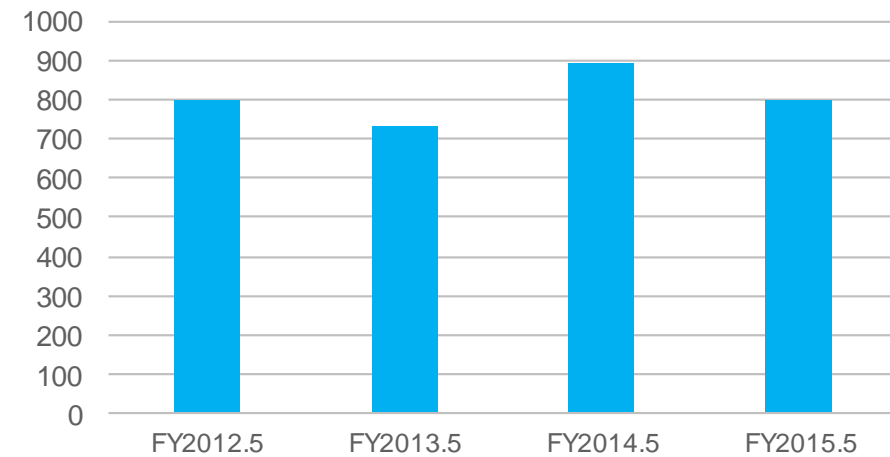
	FY2012.5	FY2013.5	FY2014.5	FY2015.5
手数料収入①	523	481	702	727
カタログ収入②	50	52	50	51
小計③=①+②	574	534	777	778
④商品売上高	784	714	416	361
⑤商品売上原価	△558	△515	△275	341
粗利益③+④-⑤	800	733	891	799

注：カタログ収入には会費、貸会場収入も含まれます。

取扱高



粗利益



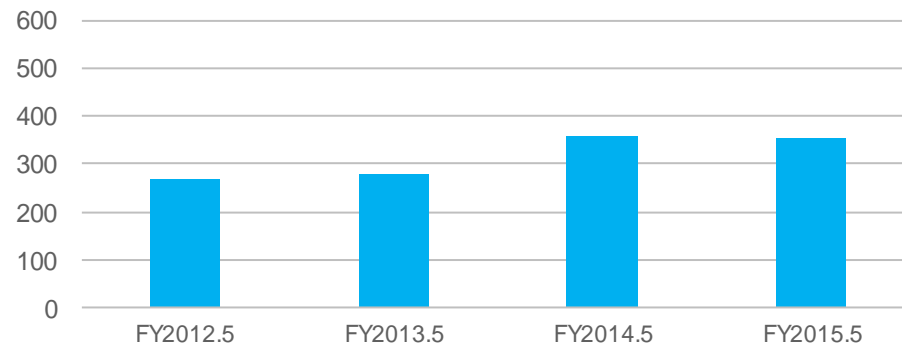
近代美術オークション 平均落札価格の推移

(単位：百万円)

	FY2012.5	FY2013.5	FY2014.5	FY2015.5
回数	6回	6回	5回	6回
出品数	678点	576点	595点	853点
落札数	579点	516点	481点	721点
落札率 (%)	85.4	89.5	80.8	84.5
落札総額 (百万円)	1,538	1,437	1,714	2,559
平均落札価格 (万円)	265	278	356	355

注：アフターセールは含んでおりません。

平均落札価格の推移



2015年5月期 主な落札実績

■ アルフレッド・シスレー

「Le chemin de Butte, Retour en forêt」

落札予想価格：5,000万円～7,000万円

落札価格：8,000万円

2015年3月28日開催

近代美術オークション

■ 加山又造

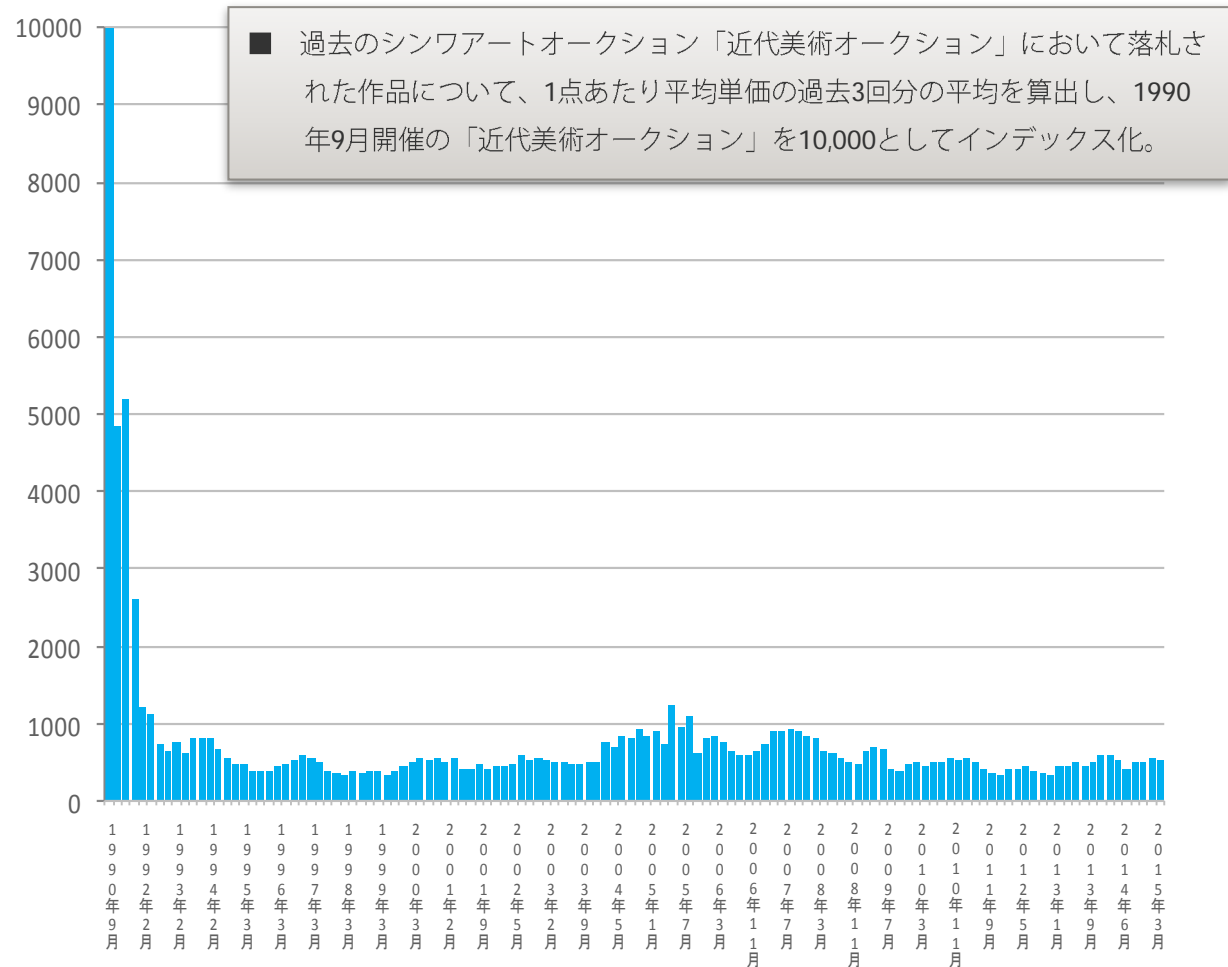
「長城」

落札予想価格：1,500万円～2,500万円

落札価格：4,200万円

2015年5月23日 近代美術オークション

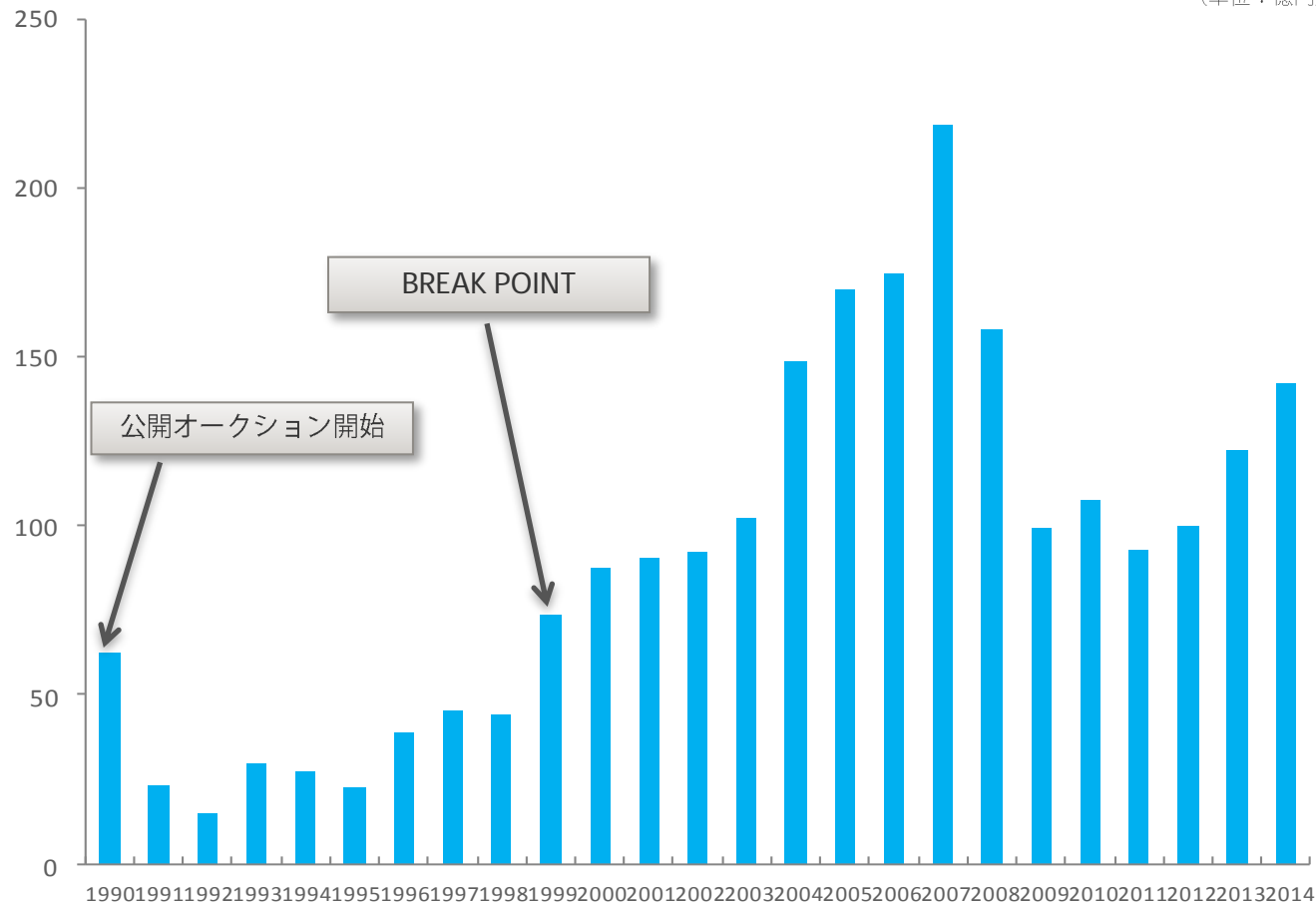
近代美術オークション インデックス



オークション開催年月	インデックス
1990年 9月	10,000
1992年 2月	1,216
1993年 2月	764
1994年 2月	818
1995年 3月	459
1996年 3月	429
1997年 3月	549
1998年 3月	338
1999年 6月	325
2000年 3月	489
2001年 7月	403
2002年 3月	445
2003年 2月	527
2004年 3月	741
2005年11月	610
2006年 9月	571
2007年11月	891
2008年 9月	560
2009年 3月	631
2010年 3月	482
2011年11月	357
2012年 2月	最小 318
2013年 7月	503
2014年 1月	572
2014年 3月	580
2014年 6月	525
2015年 3月	555
2015年 5月	520

国内美術オークション市場の規模の推移

(単位：億円)



暦年	落札推移 (百万円)	前年比
1990年	6,256	-
1991年	2,300	-63.2%
1992年	1,479	-35.7%
1993年	2,945	99.1%
1994年	2,701	-8.3%
1995年	2,258	-16.4%
1996年	3,903	72.8%
1997年	4,549	16.5%
1998年	4,408	-3.1%
1999年	7,357	66.9%
2000年	8,765	19.1%
2001年	9,075	3.5%
2002年	9,211	1.5%
2003年	10,223	11.0%
2004年	14,857	45.3%
2005年	16,950	14.1%
2006年	17,426	2.8%
2007年	21,835	25.3%
2008年	15,774	-27.8%
2009年	9,903	-37.2%
2010年	10,777	8.8%
2011年	9,331	-13.4%
2012年	10,064	7.86%
2013年	12,276	21.9%
2014年	14,258	16.1%

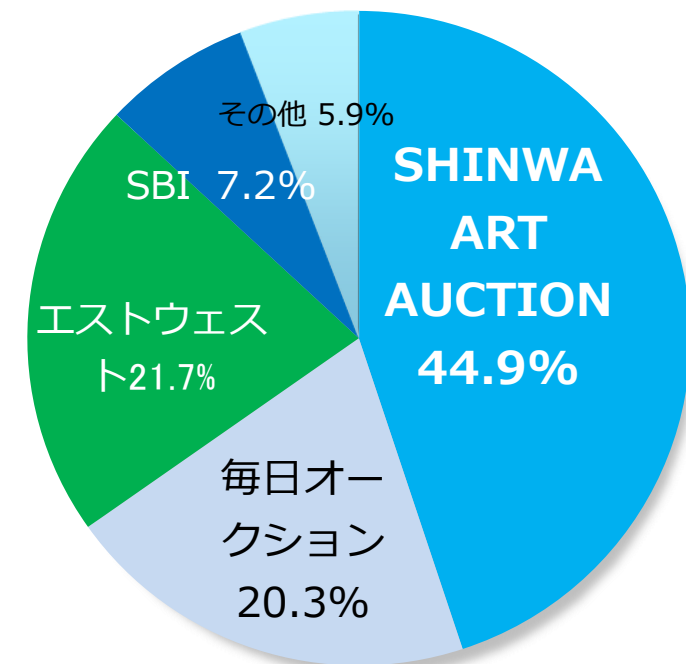
* 「月刊美術」2015年3月号より

取扱アイテム及び高額落札作品 シェア比較

オークション名	年間回数	内容
近代美術	6回	近代日本画・日本洋画・彫刻・外国絵画など、落札予想価格の下限金額が概ね20万円以上の作品（平均落札価格：約355万円）
近代陶芸	4回	近代陶芸・茶道具・漆芸・金工・古美術など、落札予想価格の下限金額が概ね10万円以上の作品（平均落札価格：約29万円）
近代美術 Part II	6回	版画・日本画・洋画・陶芸など、落札予想価格の下限金額が概ね2万円以上の作品（平均落札価格：約14万円）
西洋美術	不定期	西洋ガラス工芸・西洋磁器・西洋家具・西洋絵画など、落札予想価格の下限金額が概ね5万円以上の作品（平均落札価格：約21万円）
Bags / Jewellery & Watches	不定期	ブランド雑貨・時計宝飾品など、落札予想価格の下限金額が概ね2万円以上の作品
ワイン	不定期	高級ワイン
特別オークション	不定期	プライベートコレクションなど

注：取扱アイテムの平均落札価格は2015年5月期期末時点

■ 高額落札作品市場シェア
(2,000万円以上)



* 暦年（2014）「月刊美術」2015年3月号より

2016年5月期 財務方針

- 経常黒字継続
- 配当性向30%以上継続目標
- 連結ROE15%以上を目標
- インフレを前提としたバランスのとれた安全資産と銀行融資の拡大
- 短期借入金の適正運用
- いかなる金融商品も保有せず
- 適正な在庫リスクコントロール
- 原則的には短期売却による短期損益確定
- 戦略的在庫商品は適正仕入れによるリスクコントロール
- 内規に沿った適正な評価による引当金計上
- 実態ある時価総額経営へ移行
- 市場からの資金調達を積極化
- 純資産の拡大、大規模なプラットフォームを形成
- 有能な人材確保のため積極的な新株予約権発行

これまでの事業推移

第27期

2015年6月～2016年5月

■ 第27期 連結収益拡大へ

中期経営計画3年目・アート市場活況・太陽光収穫期

医療ツーリズム開始・メディコ収益化へ・新たな安定事業の模

第26期

2014年6月～2015年5月

～追い風続く！美術品価格単価上昇、太陽光発電ブーム選別化へ～

■ 第26期 実質的な連結収益力拡大

中期経営計画2年目・オークション好調・太陽光貢献

美術品プラットフォーム拡大・太陽光発電施設建設ラッシュ

第25期

2013年6月～2014年5月

～アベノミクスは追い風、デフレ脱却へ～

■ 第25期 収益拡大、成長軌道初年度

中期経営計画始動・新規事業収益化

オークションプラットフォーム拡大開始・積極的な資金調達

第24期

2012年6月～2013年5月

～続く厳しい事業環境、中国経済鈍化、ユーロ金融危機～

■ 第24期 黒字維持努力、新たな成長模索

新中期経営計画策定・発表

黒字維持・ディーリング強化・新規安定事業模索、新たな成長戦略を模索

第23期

2011年6月～2012年5月

～東日本大震災 / 暗雲広がる事業環境～

■ 第23期 黒字体質の確立・配当継続

経営資源を国内へ集中、国内新規事業展開

出品確保に注力、確実な収益の確保・短期の換金需要に対応しディーリング強化

第22期

2010年6月～2011年5月

3期ぶりの黒字・復配

■ 第22期 黒字へ向けた施策

経営資源を国内へ集中 → 近代美術への注力

会員制度・特約店拡大施策・新アイテムとしてブランド雑貨オークションを戦略的に開催

第21期

2009年6月～2010年5月

アジア・欧米の美術市場は
緩やかな回復を始める中、
日本は兆し見えず・・・

■ 第21期 アジア・欧米の美術市場底打ち

更なる機構・構造改革を断行

すべての経費アイテムの更なる見直し・削減 / 固定賞与減額を続行
非収益的部門となっているアジアマーケティング部門をジョイントベンチャーへ移行

第20期

2008年6月～2009年5月

急速に収縮した日本の美術市場

金融危機・リーマンショック

■ 第20期 リストラに始まる

会社規模の適正化・緊急リストラ策断行

徹底的な経費削減・・・役員報酬減額、役員賞与停止・希望退職者募集・本社機能移転・固定賞与の減額

2016年5月期 日本近代美術再生プロジェクト3年目 オークション事業 I - 日本近代美術再生の担い手として

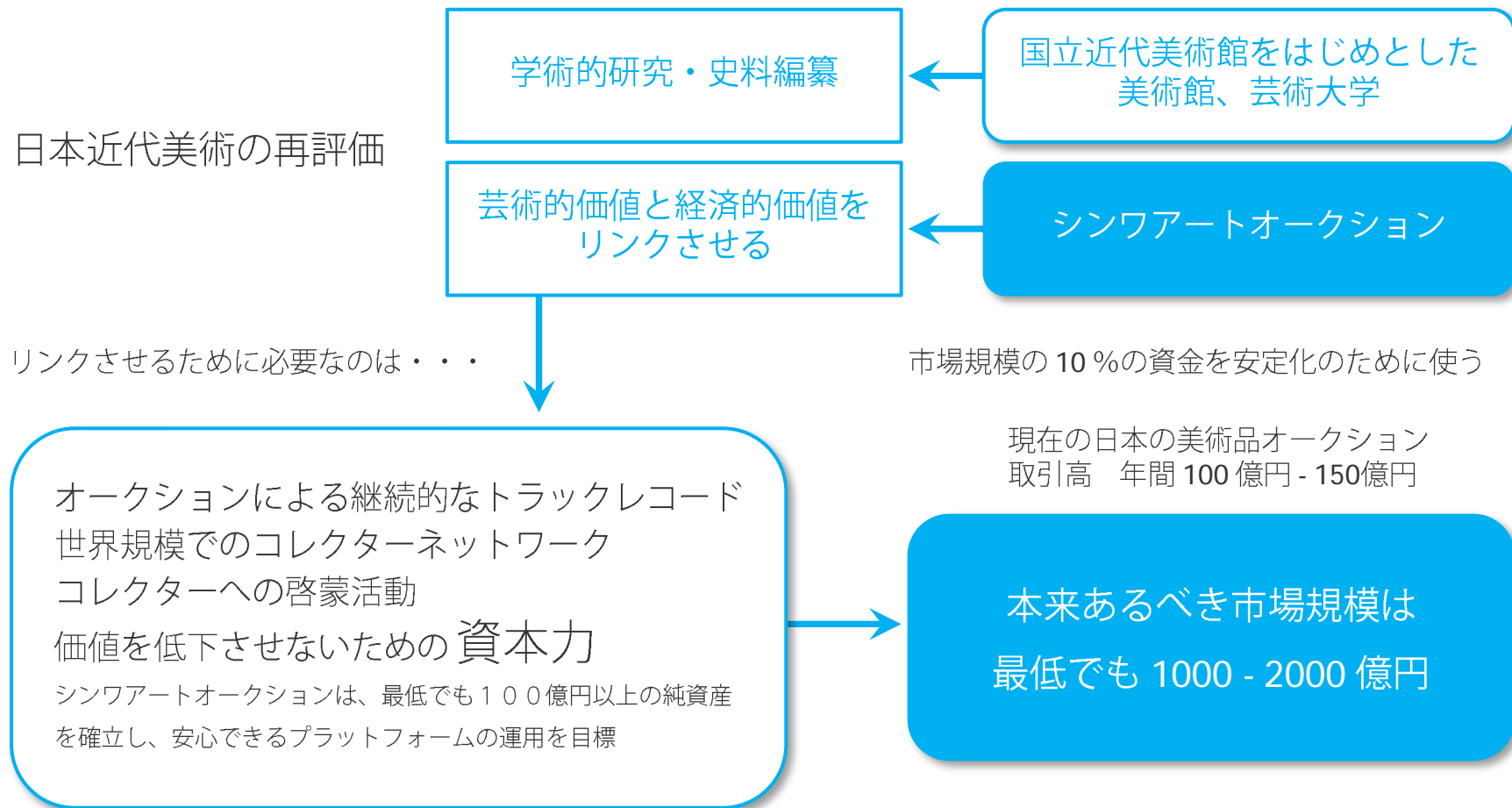
日本近代美術再生プロジェクト

- 資本力・経験・ネットワークで日本近代美術を再生
- 日本に安定的な美術市場のプラットフォームを創る
(デフレサイクルでも底堅く市場を支えられるプラットフォームを、インフレの時期に確立する)

オークション事業の収益力を強化

- 日本近代美術の盟主として、日本近代美術の価値付け、向上、維持に責任を持つ
- 年間市場規模 最低1000億円を達成するための注力
- プライベートセールなどを含め、収益を上げながら、日本近代美術市場を下支えする
- プライマリーマーケットへの進出を模索
- 芸術的価値及び経済的価値の向上に寄与する啓蒙活動を継続する

2016年5月期 日本近代美術再生プロジェクト3年目
オークション事業Ⅱ - 再評価と価値の安定化のために



2016年5月期 国内オークション事業戦略

新たなる成長に向けて、基幹事業で確実な収益確保。インフレを好機として積極展開

落札営業

- 高品質・高価格作品の販売強化
- 富裕層営業を更に強化
→ 新たな参加者を積極誘導

出品営業

- 業者営業強化（特約店拡大）
→ アートディーラー囲い込み継続
- 法人出品営業強化・相続営業強化
→ 企業・個人の換金需要を取り込む
一括保証制度・前渡金制度利用促進

国内オークション事業

Jオークション収益化を模索

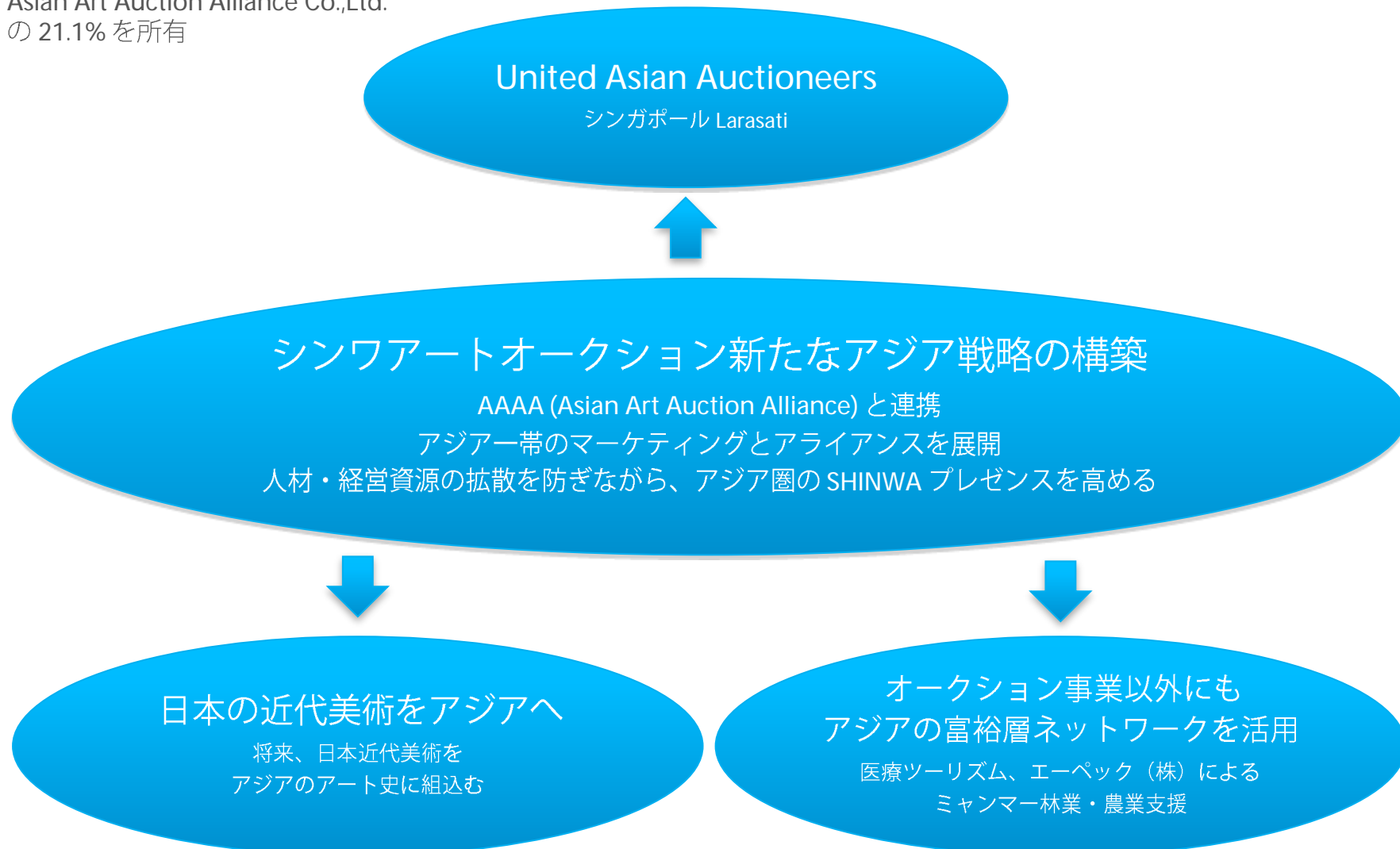
- 宝石オークションの単体収益化を目指す
→ 大胆なコストカットを実現
→ ネット媒体を活用
→ アジアからの顧客開拓を継続

ディーリング強化

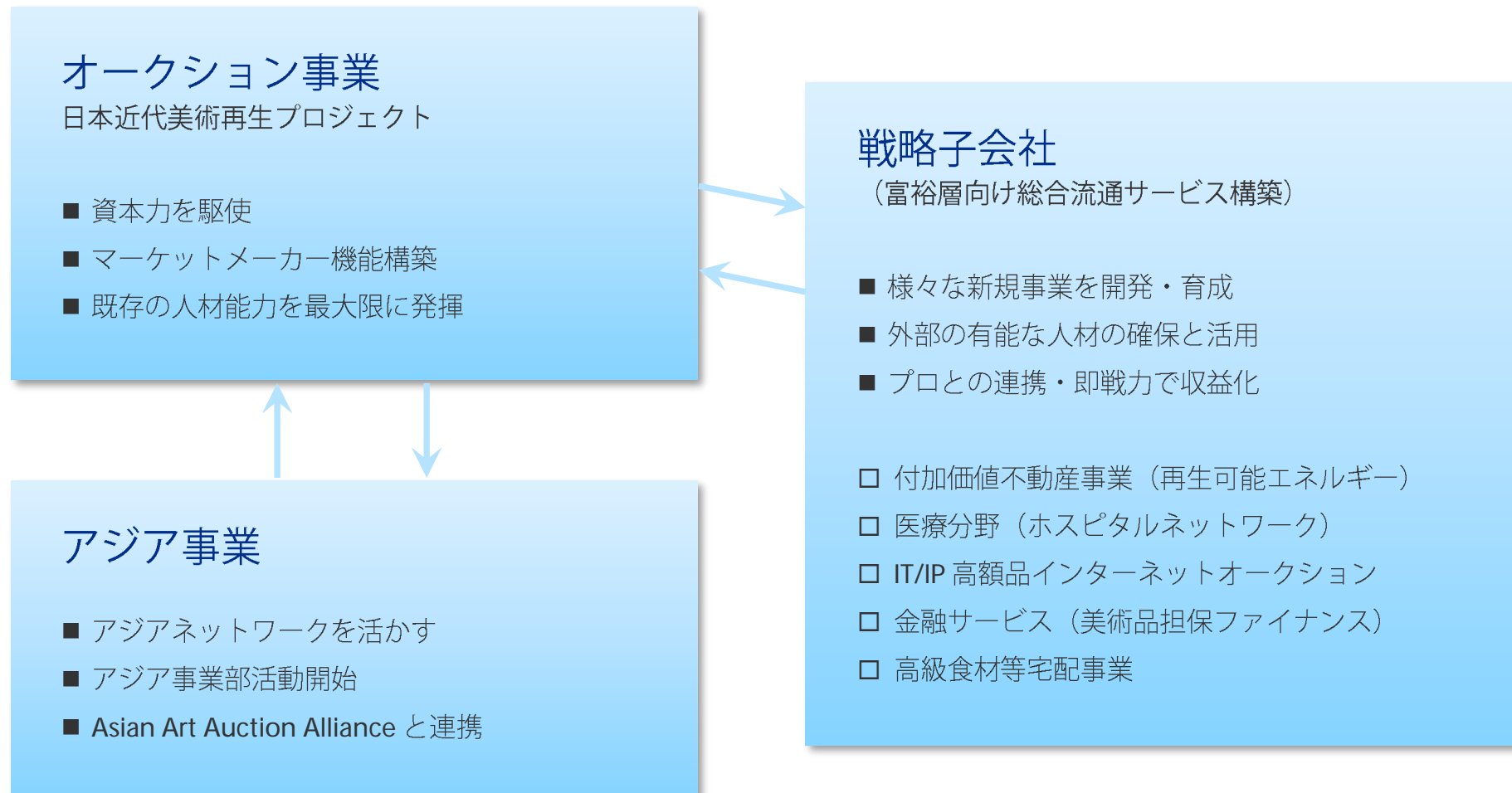
- マーケットメイクの拡大
→ 積極的に銀行借入れ枠を活用
リスクを限定して買取促進、
戦略的な在庫保有強化へ

2016年5月期 国際事業戦略 ～ アジア地域における投資戦略

Asian Art Auction Alliance Co.,Ltd.
の 21.1% を所有



シンワアートオークション新中期経営計画骨子（平成25年1月20日発表）



新中期経営計画2年目（2015年5月期）を振り返る

- 日本におけるアートオークションプラットフォーム拡大
（近代美術オークション結果は全てエスティメイト下限合計を上回るも、出品確保が課題）
- 株式市場からの資金調達に苦しむ
- 銀行を含めた資金調達能力を更に強化（新たな銀行取引を開始）
- 新株予約権発行による社内意識の明確化を継続
- Jオークション（株）の損失拡大、収益化への様々な試み
- 経営資源の活用のための戦略子会社の1つエーペック（株）が収益化
- 50kW級低圧型太陽光発電施設64基を販売完了
- 高圧型太陽光発電施設 — 淡路500kW販売、西脇800kW稼働
- 2016年の電力自由化に向けた事業開発・投資を開始
- 診療報酬債権ファクタリングビジネスの再考
- 医療ツーリズム展開に向けた新規メディカル事業を構築

新中期経営計画3年目（2016年5月期）行動計画

- これから5 - 10年を見据えた日本のインフレをにらみ、積極的な資産の拡大
- 連結ベースでの収益拡大を実現
- 日本のアートオークションプラットフォームの拡大
- シンワアートオークション（株）純資産25億を目指す
- 株式市場からの資金調達に再挑戦
- 銀行与信枠の拡大と、銀行借入枠の活用強化
- 新株予約権発行を継続・社内意識を更に強化
- Jオークション（株）を収益化へ
- 太陽光発電施設建設・更なる販売加速・収益貢献へ
- PPSとして電力自由化を睨んだ電気事業展開を模索
- 診療報酬債権ファクタリング事業を一旦中断
- 医療ツーリズムを開始
- 新規安定事業の研究開発

戦略子会社 - エーペック株式会社 I

穂北太陽光発電所（宮崎県西都市）メガソーラー稼働中

20年間電力固定価格買取制度（40円 / kWh）を利用し、2013年11月より九州電力に売電開始
安定的な売電収益を享受

名 称： 穂北太陽光発電所
場 所： 宮崎県西都市大字穂北 3835-1、3835-2、3842-1
発 電 規 模： 約1MW（993.6kW）
年間想定発電量： 1,165,423kWh



鹿野太陽光発電所（兵庫県西脇市）稼働開始（800kW）

20年間電力固定価格買取制度（36円 / kWh）を利用し、2015年3月より関西電力に売電開始

戦略子会社 - エーペック株式会社 II

太陽光発電システム分譲予約販売中 ～生産性向上設備投資促進税制を活用～

今期分譲予定戸数
50kW換算で45基以上

標準的スペック (1基当たり)
容量 約50kW
(50kW未満)

固定売電収入受益期間
20年

機材
国産もしくは
質の高い外国製

総敷地面積
約200坪
(所有権もしくは借地権)

平均年間売電収入
約180万円

分譲販売価格
2,300万円
～2,800万円



分譲実績

2015年5月期
50kW級低圧型太陽光発電施設64基販売済
500kW級高圧型太陽光発電施設販売済

分譲販売予定地

宮崎県 - (約150kW) 三重県 - (約2MW)
千葉県 - (約800kW)
その他、多くの物件を分譲販売する予定です。

20年間の固定買取制度

電力会社と発電した電力をやり取りする一般的なシステムを利用しますが、平成24年度固定価格全量買取制度がスタートし、10kW以上の太陽光発電システムについては、発電した電力を全て、電力会社に、20年間、固定価格にて売却することができるようになりました。

生産性向上設備投資促進税制

即時償却または税額控除5%

【適用期間】平成28年3月末日まで
特別償却または税額控除4%

【適用期間】平成29年3月末日まで

銀行融資・リースの活用

20年間の安定した電力収入を背景に、国産機材を利用した設備に関して、銀行融資やリースを活用することが可能となり、キャッシュアウトを抑え、より少ない資金で高い収益を得られるようになりました。

戦略子会社 - エーペック株式会社 III

2016年5月期に模索するエーペック（株）の新たな事業

- 2016年の電力完全自由化を睨んだ新たな事業開発
- 電力卸売事業を開始
- 日本新電力株式会社の株式5%を取得
- 電力料金割引サービス事業の展開を模索
- ミャンマーでの林業・農業支援事業を模索
- 新たな文化・教育事業の開発

戦略子会社 - シンワメディコ株式会社

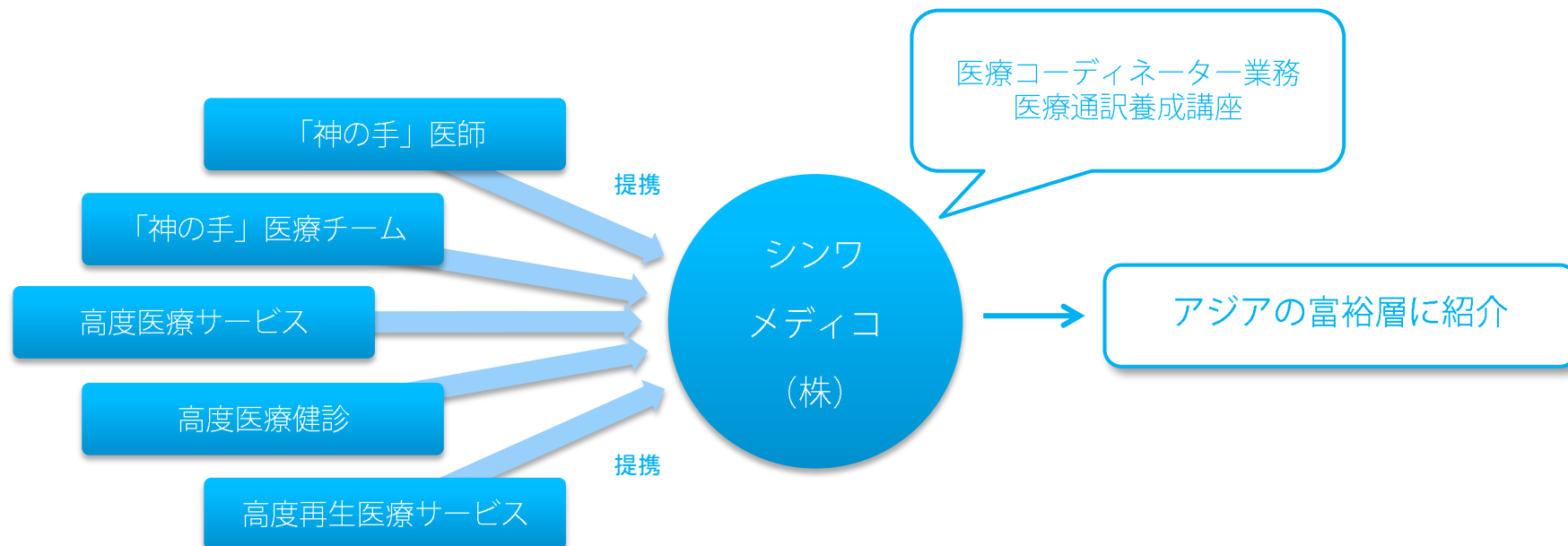


【診療報酬債権ファクタリング事業を凍結】

2013年6月、初の診療報酬債権ファクタリング契約を締結するも、資金調達の遅れにより、ファイナンススキームが確立するまでの間、一旦、同事業を凍結

【医療ツーリズムに集中・特化】

本格的な医療ツーリズム事業を開発、2016年5月期よりマーケティング開始



戦略子会社 - Jオークション株式会社

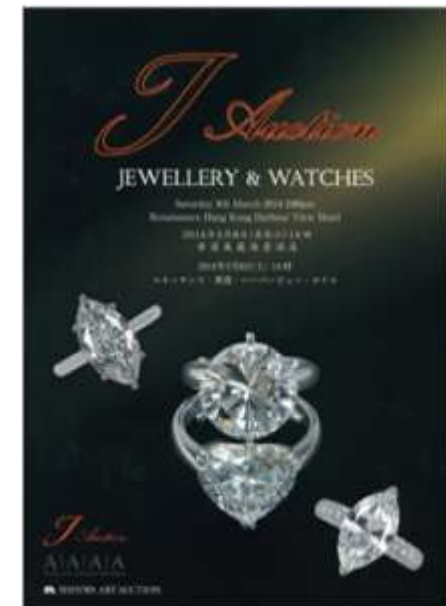
宝飾品業界のプロとのアライアンス

【宝飾品オークション会社として日本一を目指し、アジアで大きなプレゼンスを確立する】

- 香港でのJewellery & Watchesオークションを再開するも、中国市場の低迷で、一旦、香港での開催を凍結、日本に特化
- シンワアートオークション(株)のJewellery & Watchesオークションを引き継ぎ、国内で年間3~4回のオークションを開催予定
- アジアから日本へオークション参加者を呼び込み、売上高拡大
- 低コストによるオークション運営を開発し、収益化を図る

会社概要

商号	Jオークション株式会社
本店所在地	東京都台東区上野五丁目8番13号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 小玉 啓一郎
主な事業内容	時計・宝飾品等を対象としたオークションの企画・開催・運営、古物売買及び委託売買ならびに輸出入
資本金	1,000 万円
出資比率	シンワアートオークション (株) 51%



シンワアートオークショングループ 新中期経営計画3年目に！

構想・布石の2年を終え、実現するステージ

- 2015年のシンワアートオークショングループは、大きな飛躍期を迎える。特に、戦略子会社であるエーペック（株）が上期の収益を牽引し、後半は、シンワアートオークション（株）がインフレの波に乗って、新たな成長軌道を明確に。
- シンワアートオークション（株）は、前半、アベノミクスの中だるみから、多少苦戦する局面もあるが、半ばから後半にかけて、インフレを象徴するポジティブなサプライズの中で、確実に収益を上げる。昨年後半に構築した新たな社内体制をフル稼働させて、大きな成果を目指して、実績をあげていく。
- エーペック（株）は、2015年は、太陽光発電施設分譲販売事業の収穫期であり、事業拡大の最後の年と位置づける。FIT36円/kWおよび32円/kWの物件を積極的に取り込み、収益拡大を加速させる。さらに、2016年の電力完全自由化を睨み、PPS（2015年6月登録済み）として、新たな電力事業を開発、マーケティングを開始。
- シンワメディコ（株）はこれまでの枠組みを完全に組み替え、新たな道を模索、医療ツーリズム事業を本格展開。
- Jオークション（株）は、コスト削減、アジアの富裕層取り込み、地道な努力を継続して収益化を模索。

戦略子会社3社 - 2016年5月期・業績予想

	売上高 (千円)	営業利益 (千円)	経常利益 (千円)	当期純利益 (千円)
エーペック(株)	1,891,049	109,158	88,692	59,424
シンワメディコ(株)	9,000	1,000	1,000	820
Jオークション(株)	63,085	2,555	2,258	2,058

戦略子会社3社 - 2016年5月期・業績予想前提条件

エーペック（株） 業績予想前提条件

- 2016年5月期は、50kW級低圧型太陽光発電施設74基の開発・販売を見込む

2015年5月期からの仕掛かり物件16基
九州電力連係保留物件の稼働3基
三重県開発販売物件40基　その他新規開発販売15基
- 新電力事業・卸売事業を開始、2016年5月期は大きな収益は見込まず
- ミャンマーにて、太陽光発電事業の恩返し長期事業開発（林業・農業支援）、短期的な収益を見込まず
- 太陽光発電事業にとらわれない新規事業を開発、当年度の収益見込まず

シンワメディコ（株） 業績予想前提条件

- 既存ファクタリング事業凍結
- 医療ツーリズムのマーケティング開始
- 医療健診紹介60件、再生医療紹介2件を見込み、収益化へ

Jオークション（株） 業績予想前提条件

日本4回のJ&Wオークションを開催予定、香港は当面凍結、シンワアートオークション（株）との連係強化
低コスト運営を開発し、収益化へ

2016年5月期 6期連続黒字・連結収益急拡大

2011年5月期 黒字浮上・復配



東日本大震災を乗り越えられるか!?

2013年5月期は3期連続黒字確保・配当継続

震災以降、デフレ進行でオークション出品低迷



ユーロ金融危機、中国鈍化、国内デフレ等、外部環境の悪化を乗り切る！



2014年5月期 デフレ脱却でオークション収益拡大達成

エーペック（株）、シンワメディコ（株）
初年度黒字化は未達成2015年5月期 オークション伸び悩む・
評価減積み増しで力を蓄えるエーペック（株）は連結収益貢献
シンワメディコ（株）は事業再構築・医療ツーリズム開発
Jオークション（株）は依然収益モデルを模索中

2016年5月期は、オークションプラットフォーム拡大と、連結収益の大幅拡大を目指す！

(エーペック（株）収益急拡大・シンワメディコ（株）収益化・Jオークション（株）収益化)

2016年5月期 連結業績予想

(単位：百万円)

	FY2015.5 実績	FY2016.5 計画	前年比 (%)
売上高	2,948	3,113	5.6%
営業利益	77	182	135.1%
経常利益	52	158	201.5%
当期純利益	16	100	516.3%
1株当たり当期純利益 (単位：円)	2.89	17.28	

※ 将来見通しに関して

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

会社概要

シンワアートオークションは、日本に高額品の換金市場を確立するため、公明正大なオークション市場の創造と拡大を目指しています。

- 年間約30回の公開オークションを開催
 - 2014年の美術品オークション市場シェア… 26.4%
 - 2014年の高額落札（2000万円以上）市場シェア… 44.9%
- （「月刊美術」より）



商号	シンワアートオークション株式会社		
設立	1989年6月15日		
資本金	926百万円		
本社	東京都江東区有明3丁目7番26号 TEL 03-3520-0066		
役員	代表取締役社長	倉田陽一郎	監査役 羽佐田信治
	代表取締役専務取締役	中川健治	足達 堅
	取締役	泉山 隆	佐野洋二
		石井一輝	
		木下邦彦	